

第10回教師&
専門家のための

登校拒否研修会

○開催主旨

不登校児童、生徒の数は年々増加傾向にあります。さらに年齢層の幅の広がりとともに質的にも神経症型からアパシー型に至るまで、様々な様相を示しつつあります。また社会問題としても固定化しつつあります。今まで不登校のことが公に問題にされてから、かなりの時間が経過し、学校教育、心理、社会福祉、医学、保育、社会学等広い範囲の領域において、様々な試みがなされて参りました。しかし、一領域の対応では効果的な結果が得られず、今日、総合的かつ連携的な取り組みと理解、及び援助者の育成が緊急の課題になってきております。さらに、いじめ不登校だけでなく、殺傷事件、家庭内暴力、校内暴力等、様々な子どもの問題が起きています。

そこで10年目の今年は『不登校現象を再検討、再考察し、具体的な対応を探る』とし、今日の教育課題「いじめ」「不登校」「高校中退」の問題を一緒に考えていきます。

生徒指導、養護、相談室の先生方ばかりでなく、学校現場の先生方及び児童相談所の相談員の方、また広く不登校にかかわる領域で研究をしている方を対象に行います。

講師の先生方は実際の不登校児童、生徒をよく理解していて、それぞれの専門分野で活躍している第一人者の方々をお願いしております。

受講される方々が不登校に関する理解と取り組み(対応)を様々な角度から学び、それを実践に生かしていただくことができれば幸いに存じます。

開催要項

日 時 平成12年8月21日(月)～23日(水)

会 場 ニッショーホール(日本消防会館)

東京都港区虎ノ門2-9-16(地下鉄銀座線・虎ノ門下車徒歩5分)

受講費 全期間 20,000円(学生10,000円)※学生の方は学生証コピーを同封してください。

二日受講 16,000円(学生8,000円)

一日受講 8,000円

- ・一日参加の場合は学生も一般と同じ金額になります。
- ・止むを得ない事情により、講師を変更する場合がございます。その際にご容赦ください。
- ・昼食はニッショーホールの地下、及び周辺のレストランなどでおとりください。(費用は個人でご負担ください)

定 員 700名(受付は先着順、定員になり次第締め切りになります。)

受講対象

- ・教師及び教育関係者・児童相談所相談員
- ・教育相談担当者(カウンセラー・セラピスト・ケースワーカー・臨床心理士・医学関係者・学生も可)
- ・その他、不登校にかかわる領域で研究をしている方

申込方法

- ① 申込書に住所(ご自宅住所)、氏名、勤務先を明記のうえ、下記にご郵送あるいはファクシミリでお送り下さい。
〒233-0013 横浜市港南区丸山台2-26-20 教育研究所内 登校拒否研究会事務局
TEL. 045-848-3761(代) FAX. 045-848-3742 (<http://member.nifty.ne.jp/KYOKEN/>)
- ② 申込書送付後、下記いずれかの方法で参加費をお振込下さい。入金が確認され次第、受講証と領収書をお送りいたします。
 - ・現金書留 〒233-0013 横浜市港南区丸山台2-26-20/教育研究所内 登校拒否研究会事務局
 - ・銀行振込 第一勧業銀行 洋光台出張所(398) 普通 1310372 登校拒否研究会
 - ・郵便振替 00260-1-69863 登校拒否研究会

主催 (社) 青少年健康センター・登校拒否研究会
後援 文部省・全国都道府県教育委員会連合会
申し込み受講のご注意

- (1) 受講費の入金が確認され次第、受講証と領収証をお送りします。領収証の宛名をご明記下さい。
- (2) 申込書は楷書でご記入下さい。また、夏休み期間中のご送付先として、自宅住所、電話番号もご明記下さい。
- (3) 定員制のため、申込後の取消はできません。代替りの方の受講を認めますので、ご一報下さい。
- (4) 定員になり次第締め切りです。お早めにお申し込みください。郵便振替は着信までに1週間ほどかかります。8月10日以降にお申込みのときは、必ず電話でご確認の上お申込ください。
- (5) テキスト・資料等は会場受付にてお渡しいたします。

- (6) 受講証は必ずご持参ください(受講番号は控えを)。
- (7) 会場での録音・録画はお断りいたします。
- (8) 天災等により、一部地域で交通機関の混乱等があっても研修会開催された場合は参加費の返金はできません。その際は講義の録音テープ等で対応させていただきますのでご了承下さい。
※冷房の調整ができません。ご注意ください。

宿泊先でお困りの方は

ご希望があればご案内致します。直接下記の旅行社の方へ直接お問い合わせください。

読売旅行 静岡営業所(担当 清水 明広)
〒420-0853 静岡県静岡市追手町9-22
Tel. 054-251-3131 Fax. 054-251-3120

平成 12 年度 夏期セミナー/第 10 回教師&専門家のための登校拒否研修会

■のマークのある講座は時間内に質疑の時間があります。

月日	時間	研修テーマ・講師	講師紹介
八月二十一日(月)	10:30 ~11:30	『不登校問題等に対する教育行政の取り組み』 文部省初等中等教育局中学校課生徒指導専門官 笹井 弘之	いじめ・不登校・学級崩壊、校内暴力など、学校は今様々な問題を抱えている。行政として、様々な調査結果を踏まえ、教委・学校における取り組みについて考える。
	11:40 ~12:40	『問題を投げかけている子ども達への福祉的対応』 厚生省児童家庭局家庭福祉課児童福祉専門官 相澤 仁	児童虐待から不登校問題など、今日の家庭は様々な問題を抱えている。児童相談所は児童家庭福祉の立場から具体的な援助活動をしている。行政の取り組みを紹介する。
	13:40 ~16:10	シンポジウム 『不登校経験者から感じた学校・家庭の対応』 コーディネーター NHK 週刊子どもニュースキャスター 池上 彰 様々なタイプの不登校経験者 3 名~4 名 助言者 教育研究所所長 牟田 武生	様々なタイプの不登校経験者から体験談を聞く。彼らが感じた家庭・学校の対応のあり方を聞き、タイプ別の対応のあり方を一緒に考える。増えつづける不登校に対して明日への援助の手がかりを探る。

月日	時間	研修テーマ・講師	講師紹介
八月二十二日(火)	9:30 ~11:20	基調講演 『追跡調査から見た今日の不登校現象』 大阪市立大学教授 森田 洋司	平成 5 年度中学卒業生のうち不登校生徒二万六千人全員の追跡調査による豊富なデータから「不登校現象とは何か」、社会学者の第一人者がシャープに不登校現象を分析し、今日の不登校問題を考える。
	12:20 ~14:10	『荒れる学校と少年法改正』 筑波大学名誉教授・早稲田大学教授 下村 哲夫	荒れる学校・様々な問題行動に走る子ども達、その中で問われる少年法改正問題を教育法の第一人者が鋭く講義する。
	14:20 ~16:10	『教師が取り組む不登校 ~不登校対応チャートによる指導』 国立特殊教育総合研究所情緒障害教育研究室長 花輪 敏男	不登校に対する学校（教師）の具体的な取り組み方を「不登校対応チャート」に基づいて述べる。

月日	時間	研修テーマ・講師	講師紹介
八月二十三日(水)	9:30 ~11:20	『社会的ひきこもりの理解と対応』 (社) 青少年健康センター理事 (医) 北の丸クリニック所長 倉本 英彦	「ひきこもり」の子ども達が増え、様々な非社会的・反社会的な問題行動を起こしている。ひきこもりの臨床医の第一人者が「ひきこもり」の子どもとのつき合い方を講義する。
	12:20 ~14:10	『不登校の心理・予防・再登校への援助』 国際学院埼玉短期大学教授 附属教育相談研究センター所長 金子 保	不登校問題の第一人者より、不登校の心理に即した予防法と再登校への援助のあり方をプログラム手法に基づき講義する。
	14:20 ~16:10	『不登校、子どもの状態像に即した対応』 新潟大学名誉教授・仙台白百合女子大学教授 石郷岡 泰	大学の研究者であると同時に、臨床の場に常に身をおいてきた臨床家でもある。専門の社会心理学を背景に子どもの状態像にそくした対応のあり方を考える。

登校拒否研修会 申込書(平成 12 年 月 日)

※

勤務先名 (領収書宛名)		申し込み・受講の規定をよくお読みになり楷書で丁寧にお書きください。なお、受講証の発送が夏休みに入ることとも考えられますので、ご自宅の住所は必ずお書きください。
参加者名	ご自宅住所・ご連絡先	該当する□にチェックし金額を記入してください。
	〒 TEL	受講日□21 日□22 日□23 日 申込方法□郵送□Fax お支払方法□現金書留□銀行振込□郵便振替 お振込金額 _____ 円
	〒 TEL	受講日□21 日□22 日□23 日 申込方法□郵送□Fax お支払方法□現金書留□銀行振込□郵便振替 お振込金額 _____ 円